

マイコプラズマ

ふくおか耳鼻咽喉科

〒477-0032 愛知県東海市加木屋町2-224-2

TEL (0562) 38-2800

マイコプラズマとは

マイコプラズマ肺炎というのは、細菌とウイルスの中間のような性格を持ったマイコプラズマ菌が肺に感染して起こる病気。赤ちゃんにはあまり見られず、5~10才ぐらいの子どもがかかりやすい病気です。

症状

鼻水、鼻詰まり、熱は出る場合と出ない場合があり、子どもによっては39~40度の高熱が続く場合も。しつこいせきが特徴で、長いせきが1カ月以上続くケースもあります。夜間、たんのからんだひどいせきが続き、呼吸が苦しようになることもあります。一般的には、本人は比較的元気で、全身状態がよいことが特徴といえます。

ここだけは覚えておきましょう

●マイコプラズマの潜伏期間は？

① 感染	② 潜伏期間 約2週間~3週間以内	③ 発症 1週間~2週間	④ 回復期 咳は1ヶ月ほど続くことも
------	----------------------	-----------------	-----------------------

②③の期間は他人へ感染させてしまう期間です。

発熱が収まっても咳は長期的に続くケースも多くありますので注意が必要です

代表的な3つの症状です

●マイコプラズマ肺炎の主な症状

①乾いた咳が続く(夜間が多い) ②発熱(38度~40度近い高熱) ③胸痛・疲労感(胸の痛み)

診断

ほかにとくに目立った症状がないけれどせきが続く、という場合、このマイコプラズマ肺炎が疑われるのでとりあえず医療機関へ。ノドから菌を採って15分で診断することができます。細菌性の肺炎とくらべると感染した赤ちゃんが元気なので、レントゲン撮影をして初めて感染していることに気づく場合も少なくありません。

治療

抗生物質などを使い、軽症であれば通院でOK。場合によっては入院させて治療する場合があります。治療をスタートすれば2週間ぐらいでせき、熱などがおさまります。

生活上の注意

マイコプラズマ肺炎は、ウイルス性肺炎ほどではないものの、やはりうつりやすい病気です。熱があったり、強いせきがある場合には保育園や幼稚園は休ませ、家で安静に過ごさせるようにしてください。家で看護するときは部屋を暖かくして加湿器などを使って十分に加湿をしましょう。症状がよくなってきたら、あとはかぜの場合などと同様のケアをしてあげればOKです。食欲がない間は水分補給だけはまめにするようにして、食欲が出てきたらのごじのいいもの、やわらかいものを少量ずつ与えてください。

★症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。

おだいに
なさってください。

